

令和4年（2022年）3月吉日

岩国ひがし学園 東中学校 保護者 様

岩国ひがし学園 東中学校
校 長 村 井 浩 司
学校運営協議会長 吉 良 昭 治

後期学校評価（よりよい学校づくりのためのアンケート調査）の結果について

日増しに春めいてまいりました。保護者の皆様におかれましてはますます御清祥のこととお喜び申し上げます。平素より本校教育活動に対しまして、御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、1月下旬に実施した標記アンケートにつきましては、御多用の中、御協力いただき誠にありがとうございました。遅くなりましたが、その集計結果を御報告いたします。

なお、調査時期は市内において新型コロナウイルス感染症の感染拡大が見られ、本校においても欠席者が多かったことにより、回答率が昨年度より下がっておりますことをご了承ください。

集計後、過日、校内各分掌部会、並びに、学校運営協議会において来年度に向けて改善策をとりまとめました。何卒御理解賜りますようよろしくお願いいたします。

また、一部の保護者の方からいただいた自由記述の御意見につきましては、真摯に受け止め、今後は御不安のないように改善して参りたいと思っておりますので、引き続き御理解と御支援の程よろしくお願いいたします。

【別冊資料】

- (1) 生徒用アンケート集計結果（後期）
- (2) 保護者用アンケート集計結果（後期）
- (3) アンケート結果の概要（結果と考察）
※ 前期との比較を載せています。



岩国ひがし学園 東中学校
学校評価検討委員会
TEL：22-0108

2022.3



令和3年度

後期学校評価

(よりよい学校づくりのためのアンケート調査)

結果と考察



岩国ひがし学園 東中学校

1 アンケート結果の概要

- (1) 実施時期 1月17日(月)～1月24日(月)
 (2) 対象者数 生徒：255名 保護者：255名
 (3) 回答率 生徒：88.6% 保護者：83.1%
 (4) 集計結果(平均ポイント 上位・下位)
 ※ 4・3・2・1評価で、満点は4点です。平均は2.5点です。
 ※ 4・3・2・1評価の数値の単位は%です。
 (四捨五入しており、合計が100%にならない項目もあります。)

① 生徒アンケートより

上位	質問項目	ポイント	前期との比較	4	3	2+1
1	先生は間違っただ行動をきちんと指導	3.82	+0.07	84	15	1
2	私は行事や委員会活動に一生懸命	3.74	+0.10	77	20	2
3	私はルール・マナーを守る	3.69	+0.07	72	25	3
4	私は時間を守る	3.66	+0.03	72	24	5
5	先生は丁寧に相談にのってくれる	3.65	±0	69	27	4
6	先生は公平に判断・評価する	3.62	-0.03	69	26	5
7	私は楽しく学校生活を送る	3.56	+0.06	65	28	7
8	先生はトラブルにすぐに対応する	3.55	-0.04	63	30	7
9	私は東中の生徒であることに誇り	3.49	+0.03	60	33	8
10	私は思いやりのある言葉を使う	3.48	+0.11	56	39	6
11	私は感謝清掃を行っている	3.45	+0.06	56	35	8
12	私は住んでいるふるさとが好き	3.36	+0.01	48	44	9

下位	質問項目	ポイント	前期との比較	4	3	2+1
1	スマホの使用時間	1.86	-0.07	12	10	78
2	ボランティア活動への参加	1.96	+0.04	20	10	68
3	読書時間	2.17	-0.01	15	24	62
4	家庭学習の時間	2.78	+0.13	26	35	39
5	小学生との交流活動は楽しい	2.82	-0.04	27	40	33
6	家での手伝い	3.07	+0.18	38	39	23
7	小中一貫教育 よいところ	3.09	+0.03	43	34	23
8	先生にわからないことを質問	3.14	-0.02	40	38	21
9	小中一貫教育 めざす子ども像	3.16	+0.16	48	28	24
10	小中一貫教育 目標	3.17	+0.26	51	26	23
11	授業に集中	3.28	+0.08	39	52	9
12	自分から進んであいさつ	3.35	-0.05	47	42	11

② 保護者アンケートより

上位	質問項目	ポイント	前期との比較	4	3	2+1
1	先生は子どもの頑張りを褒める	3.46	+0.06	50	46	3
2	東中は落ち着いたよい学校	3.41	+0.02	46	48	5
3	先生は相談したことに丁寧に対応	3.35	±0	48	43	10
4	学校からの情報発信	3.34	-0.04	44	48	8
5	学校の地域連携教育（CS、ネット）	3.28	-0.01	38	53	9
6	先生は間違った行動をきちんと指導	3.28	+0.01	40	50	10
7	子どもは楽しく学校生活を送る	3.26	+0.02	47	38	15
8	先生は子どもを公平に判断・評価	3.22	-0.04	38	48	14
9	家庭への連絡や意思疎通がきめ細かい	3.22	+0.04	38	48	14
10	学校に心の教育を期待	3.22	±0	39	48	14
11	学校に学力向上を期待	3.19	+0.03	38	48	15
12	学校に子どもの様子をよく見に行く	3.18	+0.18	38	46	15

下位	質問項目	ポイント	前期との比較	4	3	2+1
1	子どものスマホの使用時間	1.98	-0.05	12	18	70
2	子どもの地域行事への参加	2.47	-0.04	17	33	50
3	子どもの家庭学習時間	2.55	+0.18	20	30	51
4	家での手伝い	2.73	+0.06	23	41	36
5	授業が楽しく、理解できると言う	2.84	+0.08	22	48	30
6	子どもの基本的生活習慣	2.84	-0.02	19	53	28
7	小中一貫教育 めざす子ども像の理解	3.00	-0.07	34	45	21
8	東中生徒 ルールやマナーを守る	3.12	+0.06	27	58	14
9	小中一貫教育 よさ・メリットの理解	3.12	-0.05	31	53	16
10	育友会活動は積極的・効果的	3.14	-0.02	29	57	14
11	小中一貫教育 目標の理解	3.14	+0.07	34	49	17
12	小中一貫教育 4校協働のよさ	3.14	+0.07	33	51	16

③ 教職員アンケートより 【参考】

	質問項目	ポイント	前期との比較	4	3	2+1
1	綱紀保持の徹底、意識が高い	3.67	+0.38	67	33	0
2	働きやすい職場	3.48	+0.32	52	43	5
3	生徒の内面への働きかけ	3.48	+0.32	48	52	0
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
28	生徒の美・礼・時を实践	2.71	+0.09	5	62	33
29	業務改善	2.71	+0.19	10	57	33
30	生徒の規範意識・粘り強さ等の定着	2.67	+0.05	5	57	38

2 結果についての分析・考察

肯定的評価（4 + 3の合計）が90%以上は、生徒用が13問／25問、保護者用が5問／28問となっている。前期と比較すると、生徒用は2問、保護者用は5問減っている。

また、80%以上となると、生徒用が14問、保護者用が21問で、おおむね肯定的な評価が多かったと言える。

しかし、肯定評価が50%に満たない質問が生徒用に3問、保護者用に3問あった。今後の大きな課題である。

なお、新型コロナウイルス感染症が影響していると考えられるものが多々ある。

(1) 分析と考察

【生徒、及び、保護者共通質問項目】 ※ \、∇は前期評価との比較

	共通質問	生徒 (R3前期)	生徒 (R3後期)	保護者 (R3前期)	保護者 (R3後期)
1	先生の適切な指導	3.75	3.82∇	3.26	3.28∇
2	先生の公正な判断・評価	3.65	3.62∇	3.26	3.22∇
3	ルール・マナー	3.62	3.69∇	3.06	3.12∇
4	先生の丁寧な対応	3.60	3.55∇	3.35	3.35
5	楽しい学校生活	3.49	3.56∇	3.24	3.26∇
6	授業内容が理解できた (生徒は授業評価より)	3.47	3.42∇	2.76	2.84∇
7	あいさつ	3.41	3.35∇	3.20	3.13∇
8	思いやりのある言葉 いじめのない学校づくり	3.37	3.48∇	3.16	3.18∇
9	小中一貫教育 よい点・メリ ットの理解	3.06	3.09∇	3.16	3.12∇
10	小中一貫教育 めざす子供 像の理解	2.98	3.16∇	3.06	3.09∇
11	小中一貫教育 目標の理解	2.91	3.17∇	3.07	3.14∇
12	家で手伝い	2.90	3.07∇	2.67	2.73∇
13	家庭学習時間	2.65	2.78∇	2.36	2.55∇
14	携帯・スマホ利用時間	2.14	2.01∇	2.03	1.98∇

【その他の質問項目について】

生徒

- 「東中の生徒であることに誇りをもっている」について、前期比+0.03ポイントであるが、92%が肯定評価としている。ハード面（環境）・ソフト面（授業や諸活動）ともに充実した学園となるようさらに自信をもたせたい。
- 「感謝清掃」について、前期比+0.06ポイントで、92%が肯定評価である。しかし、一部の生徒には私語があり、気持ちがかもった清掃活動、ゴミや汚れを進んで見つけて清掃するまでは達成していない。
- 「時間を守る」については、前期比+0.03ポイントであるが、95%が肯定評価である。一日数回のチャイムにも慣れ、時計を見ながら、授業には遅れることなく行動している。しかし、朝の目標着席時刻や下校時刻に遅れる生徒が若干見られる。
- 「ふるさとが好き」について、前期とほぼ同値であるが、91%が肯定評価である。2年続けてのコロナ禍、地域との交流活動ができなかったことが要因と考え

られる。今後は、諸活動を通してふるさとを愛する気持ちを高めさせ、100%にしたい。

- 「授業に集中して取り組んでいる」について、前期比+0.08ポイントであるが、肯定評価は91%である。全体に、どの授業にも概ね落ち着いて取り組んでいるが、一部意欲に欠ける生徒も時に見られた。しかし、徐々に気持ちを入れ、取り組む態度に改善が見られるようになった。また、「わからないことを質問する」は肯定評価が79%、「家庭学習時間」については肯定評価が61%と低く、授業内容の定着が引き続き課題である。今後は授業で意欲を高めさせ、宿題はもとより、復習・予習などの家庭学習につなげる手立てを講じる必要がある。
- 「小学生との交流活動は楽しい」について、前期比-0.04ポイントと低い。やはり、コロナ禍、交流活動がほとんどできなかつたことが要因と考えられる。感染症収束後は、定期・不定期に交流活動を仕組み、施設一体型のよさを生かし、このポイントをさらに高めさせたい。
- 「先生は、困ったことや悩んでいることに相談にのってくれる」について、前期比とほぼ同値であり、肯定評価も96%と高い。これを含めて、共通質問にもあるように、教員の指導に対する生徒の評価は極めて高く、教員がいわゆる、「ま（任せ）・ほ（褒めて）・う（受け止める）」という合い言葉で指導・支援にあたっていることがうかがえる。引き続き、信頼される教師をめざして指導にあたりたい。
- 「読書時間」について、前期比-0.01ポイントとなったものの、肯定評価（平日に30分以上）が39%で、かなり低い。朝の時間にタブレットによる学習が始まったことやコロナ禍による給食準備中の読書を中止していることから、読書の時間の確保ができていないこと、また、家庭においてもスマホの利用時間が増えていることなどが要因と考えられる。新しい図書館の蔵書が増えており、利用を啓発したい。
- 生徒には「通塾（または、家庭教師）」について質問したところ、全校で60%の生徒が通塾（あるいは、家庭教師）を活用していることがわかった。
※ 7年：56%、8年：59%、9年：65%

保護者

- 「東中は落ち着いたよい学校」について、前期比+0.02ポイントで、95%が肯定評価である。一日の生活の中で、生徒に落ち着きがなく、生活態度が乱れていると思われる場面はみられず、授業や諸活動をよく頑張っている。
- 「学力向上で学校に期待している」について、前期比+0.03で、85%が肯定評価である。今後は、恵まれた学習環境のもと、また、一人1台のタブレット導入もあり、引き続き教員の授業力・指導力を向上させ、期待度を100%にしていきたい。
- 「心の教育で学校に期待している」について、前期とほぼ同値で、86%が肯定評価である。今後は、道徳教育や諸活動をはじめ、全ての教育活動の中で、生徒の心を育てていきたい。
- 「体力・健康づくりで学校に期待している」について、前期比-0.01で、85%が肯定評価である。芝グラウンド・北グラウンドが整備され、体育の授業や昼休み、部活動での利用ができるようになり、十分な体力をつける環境が整ったため、今後の向上が期待される。
- 「家庭への連絡や意思疎通」について、前期比+0.05で、86%が肯定評価である。今後は、さらにきめ細やかに家庭と連絡を密にし、よりよい関係を構築していきたい。
- 「先生は子どもの頑張りを褒めてくれる」について、前期比+0.06で、97%が肯定評価である。この質問に対する評価が全体の1位である。教員は、平素から、生徒のよいところを認め、褒めるという、まさに、「ま・ほ・う」の言葉を意識して指導・支援に当たることを心がけている。
- 「東中の先生は指導力が高い」について、前期比+0.02で、87%が肯定評価である。学習指導・生徒指導をはじめ、すべての教育活動においてワンチームで指導力を向上させ、期待度を100%にしていきたい。

- 「育友会活動は積極的、且つ、効果的である」について、前期比－0.02ポイントで、85%が肯定評価である。しかし、コロナ禍、様々な活動が2年連続で中止となった。しかし、主要行事では、多くの保護者の皆様にご支援・ご協力いただき、感謝している。
- 「授業参観などで子どもの様子を見に行く」について、前期比＋0.18で、85%が肯定評価である。2年連続で最も伸び率が高い。近年、お仕事をされる方が増え、なかなか平日に来校できない状況が見て取れるが、そんな中でも多くの保護者の皆様に来校していただき、感謝している。今後はより参観しやすくなるよう工夫をしていきたい。
- 「子どもは基本的な生活習慣が身についている」について、前期比－0.02ポイントであり、72%が肯定評価である。近年、スマホの所持率が上がり、使用時間が増え、夜遅くまで使用し、生活リズムを崩したり、トラブルに巻き込まれたりする等のケースが増えている。今一度、基本的な「早寝・早起き・朝食」、そして、「あいさつ・時間・礼儀・言葉遣いなど」が確実に身につくよう指導をしていきたい。特に、本校の生徒の「朝食摂取率」が他校と比べて著しく低いことや、歯科検診後の未治療者が多数いることも危惧される。

(2) 学年ごとの集計結果

学年ごとの結果を見ると、肯定評価（4・3評価）の差が顕著（10%以上の差）に表れている質問項目は次のとおりである。

生徒

質 問	低い学年	肯定評価	高い学年	肯定評価
家庭学習時間	8年	43%	9年	82%
ボランティア活動回数	8年	20%	9年	57%
小中一貫のよさを知っている	9年	57%	7年	92%
小学生との学習や活動は楽しい	9年	52%	7年	76%
めざす子ども像を知っている	9年	69%	7年	85%
読書時間	9年	31%	7年	43%
スマホの利用時間	8年	17%	9年	28%

保護者

質 問	低い学年	肯定評価	高い学年	肯定評価
子どもの家庭学習時間	8年	35%	9年	75%
スマホの利用時間	8年	24%	9年	43%
行事など子どもの様子を見に行く	9年	75%	8年	93%
子どもは地域行事や活動に参加	7年	42%	9年	55%
小中一貫めざす子ども像 認知度	8年	73%	9年	85%
子どもは家で手伝いをする	9年	57%	8年	68%
育友会活動は積極的、効果的	9年	80%	7年	90%
連絡や意思疎通のきめ細やかさ	9年	81%	7年	91%

3 学校運営協議会委員からの意見や助言、改善案など

※ 評価は4段階

【学習指導 評価：3】

- 家庭学習の充実には、教員の授業力向上は重要だが、家庭での働きかけも重要で、家庭間で差が出ていると思う。
- 塾での学習時間と自分から進んで行う家庭学習の時間の割合を調べるとよい。
- 後期に入り、生徒の家庭学習時間が増加していることはよい。特に9年生は受験があり、頑張っているのだろう。
- 生徒の意欲向上につながる個別支援をお願いしたい。個人個人のつまずきを把握し、適切な支援をお願いしたい。
- GIGAスクール構想で、一人1タブレットを大いに活用し、学力向上につなげてほしい。特に、教員間や生徒間で活用度や技能に格差が生じないようにしてほしい。

【生徒指導 評価：3】

- 生徒の基本的な生活習慣の定着には家庭の影響が大きい。家庭で自然にあいさつを交わす雰囲気や地域全体でつくっていききたい。
- 前期と比較してさらに落ち着いた学校となっていることはよい。先生方の方々の温かいご指導に敬意を表します。
- 先生方の指導に対し、ほとんどの生徒や保護者が理解を示していることはよい。お互いに信頼関係ができていけると言える。
- 学校に登校できない生徒（不登校）が増加していることが心配である。保護者の押し出しが弱い家庭への支援が必要であれば、相談してほしい。また、関係機関としっかり連携してほしい。
- 東地域の児童生徒数は増加しているか？ 特に目立って増加していない。3～4年後には、中学校が2クラスの学年が出る可能性がある。

【連携教育 評価：3】

- 岩国ひがし学園の取組の成果を引き続き岩国市内外に発信してほしい。
- コロナ禍で地域行事の中止が相次いだが、収束したらぜひ、中学生に参加してもらい、地域を盛り上げてほしい。
- 小中一貫教育の目標やめざす子ども像がだんだん定着していることはよい。
- ふるさと愛ネットののぼり旗が色あせているので、予備があれば早く交換するとよい。
- 地域協育ネットのおかげで、生徒の地域行事への参加やお手伝いが増え、地域が活性化してきている。
- コロナ禍、学校支援は何とか小学校においてできたが、地域貢献が中学校においてできなかったことが残念であった。

【人材育成・業務改善 評価：3・1→2】

- 夜遅くまで職員室に灯りがついている。業務改善が求められているが、業務が減っていない状況では難しいと思われる。先生方は、様々な教育問題が降りかかる中、頑張っておられる。
- 業務が減らないならば、人的配置を充実させる必要があるので、地域としても声をあげたい。
- 教職員の綱紀の保持には引き続き努めてほしい。
- 若手人材が順調に育っていることはよい。先輩教員からの指導もよいであろう。

【その他】

- 連絡橋は地域住民も利用できるというが、通る姿を余り見ない。階段がネックなのだろう。東地域の連絡橋という啓発が必要である。
なお、連絡橋（校舎～北グラウンド）の名前について、2学期に児童生徒から募集し、その後、教職員、並びに、学校運営協議会委員が過日投票し、決定しました。後日、学校だよりなどでお知らせします。